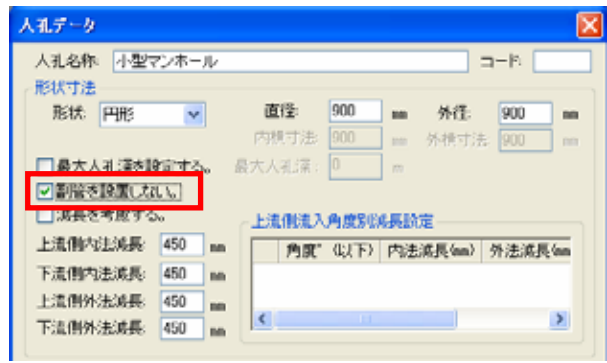



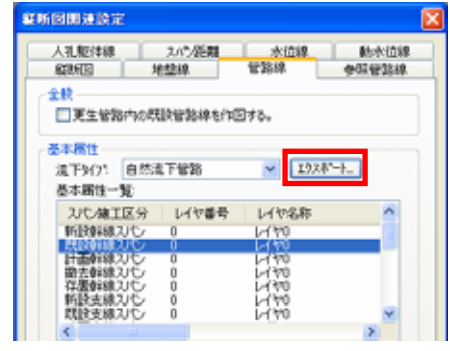
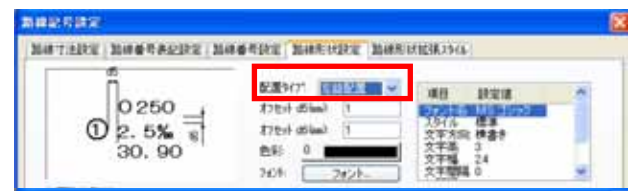

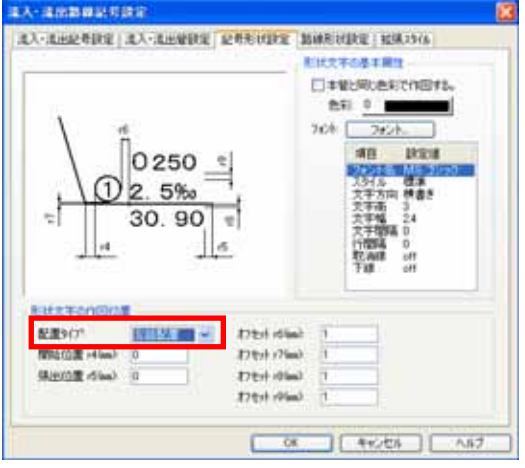




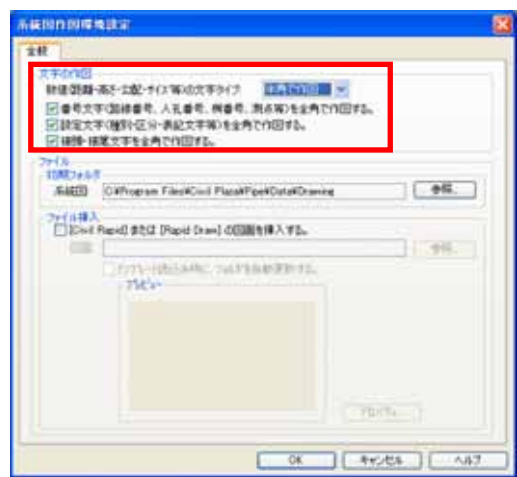
PipeRapid ver5.0 追加機能・変更内容一覧

Ver5.00 (Release2)



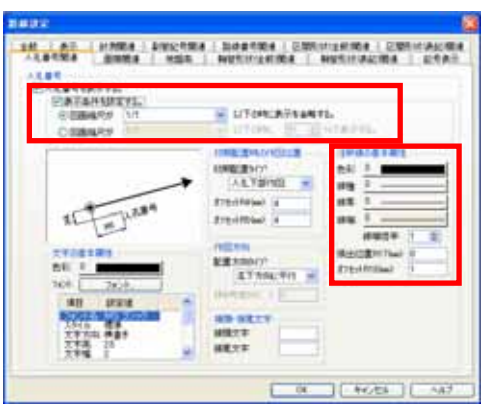

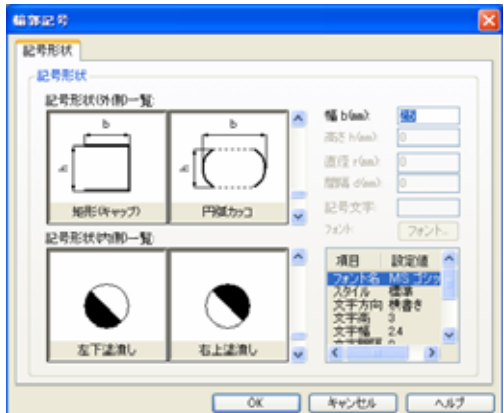
縦断設計の設定		
コマンド名称	追加内容	画面
【人孔データの設定】	・[人孔データの設定]で[副管を設置しない]の設定項目を追加。	
【区分関係の設定】	・[表記名称]に[鞘管]を追加しました。	
【管諸元の設定】	・[管諸元の設定]で推進工法用鉄筋コンクリート管 A-2EW型・ENW型、小口径推進工法用鉄筋コンクリート管A-6EW型・ENW型、硬質塩化ビニル管 VP・VMの計6タイプの管種を追加しました。	

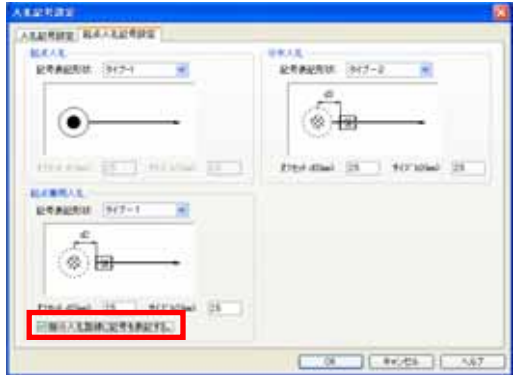
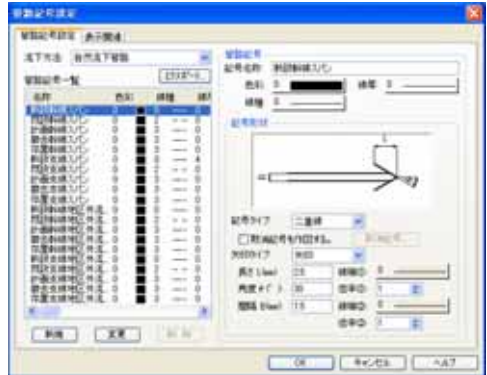


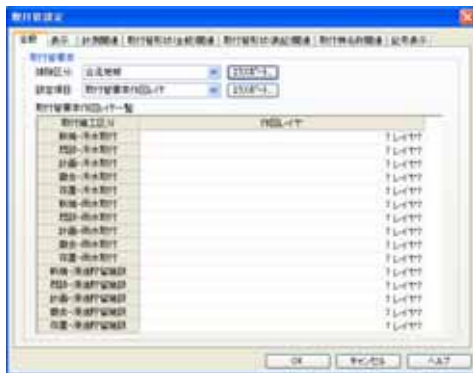

縦断図の設定		
コマンド名称	追加内容	画面
【作図環境設定】	・[全般]ページ内に[番号文字(路線番号、人孔番号、桁番号、測点等)を全角で作図する。]および[設定文字(種別、区分、表記文字、接頭・接尾等)を全角で作図する。]のチェックボックスを追加しました。	
【縦断図関連設定】	<p>< 管路線 ></p> <p>・[流下タイプ]に[エクスポート]ボタンを追加しました。 チェックボックスがONに設定されている全ての流下タイプに対して、現在選択されている流下タイプの設定値をエクスポートします。</p> <p>・[更生管路内の既設管路線を作図する]のチェックボックスをONにした場合、基準流入管および流出管の作図ルールを変更しました。</p>	
【路線記号設定】	<p>< 路線記号設定 ></p> <p>・[路線形状設定]内に[配置タイプ]を追加 路線番号内の路線形状の表記について、右揃えの配置と左揃えの配置から選択が可能になりました。</p>	


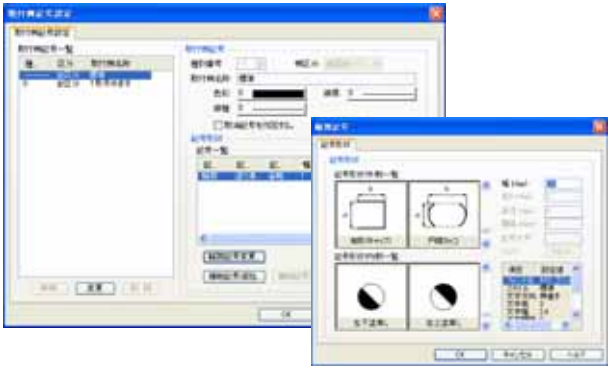
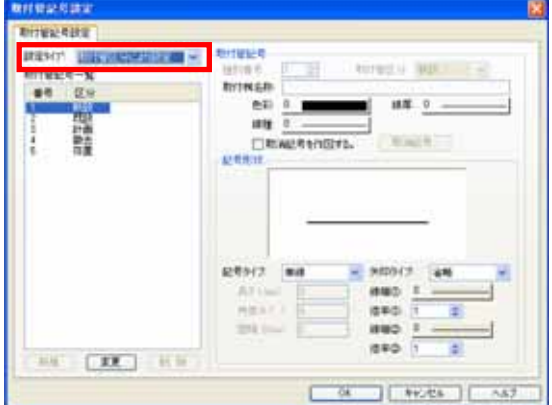

<p>【路線記号設定】</p>	<p>< 路線形状拡張スタイル ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・[路線形状拡張スタイル]を追加 管径(呼び径)および内径の路線形状を表記する場合、管種等の項目を追加して表記することが可能になりました。 	
<p>【流入・流出路線記号設定】</p>	<p>・[記号形状設定]内に[配置タイプ]を追加</p> <p>路線番号内の路線形状の表記について、右揃えの配置と左揃えの配置から選択が可能になりました。</p>	
<p>【人孔旗上設定】</p>	<p>< 人孔旗上文字設定 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・[人孔旗上文字一覧]の項目内の[人孔名称]を[人孔種別名称]に変更しました。 ・[人孔旗上文字一覧]の項目内に[施設番号]を追加しました。 	
<p>【取付管旗上設定】</p>	<p>< 旗上文字設定 ></p> <p>[旗上文字一覧]の項目内の名称を下記のように変更する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[柵名称]の名称を[柵種別名称]に変更する ・[表記名称]の名称を[柵名称(表記)]に変更する。 ・[柵番号]の名称を[柵名称(番号)]に変更する。 ・新規で[柵番号]を追加する。 ・新規で[取付管番号]を追加する。 	

路線平面系統図の設定		
コマンド名称	追加内容	画面
<p>【系統図作図環境設定】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・[全般]ページ内に[番号文字(路線番号、人孔番号、柵番号、測点等)を全角で作図する。]および[設定文字(種別、区分、表記文字、接頭・接尾等)を全角で作図する。]のチェックボックスを追加しました。 	

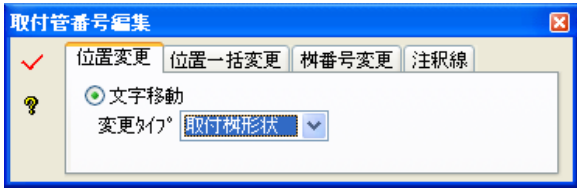
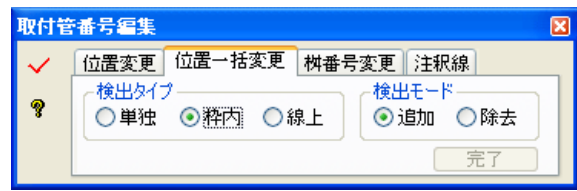
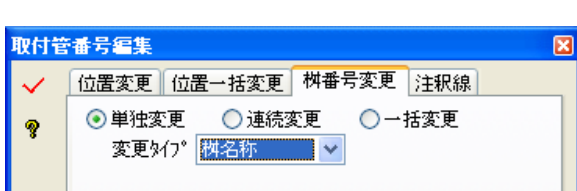

<p>【流域関連設定】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ [流域関連設定]の1 ページ目[流域関連設定]と2ページ目[用途区分関連設定]を統合し、[流域関連設定]ページに変更しました。 ・新たに2 ページ目に[区画割関連設定]ページを追加しました。 <p>[区画割関連設定]では、図面内の区画割要素を表示するかをチェックボックスにより選択が可能になりました。</p> <p>また、路線要素内の区画割範囲を表示するかをチェックボックスにより選択が可能になりました。</p>	
<p>【埋設管設定】</p>	<p>< 全般 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・注釈線の基本属性を追加。 <p>[注記タイプ] - [注釈表記]により作成された埋設管要素に注釈表記の注釈を作図する場合の、表示レイヤ、色彩、線種、線厚、線端および線端倍率を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[埋設管と同じレイヤに注釈を作図する。]のチェックボックスの名称を[埋設管と同じレイヤに注記文字・注釈線を作図する。]に名称を変更しました。 	
	<p>< 注記形状設定 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・注記記号・文字の作図位置に設定項目を追加。 <p>[注記タイプ] - [注釈表記]により作成された埋設管要素に注釈表記の注釈を作図する場合の、アンダーラインの張出位置およびオフセットを設定します。</p>	
<p>【路線設定】</p>	<p>< 全般 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線要素の作図レイヤ、路線要素内のスパン(管路記号)、路線要素内の人孔(人孔記号)、副管記号、路線番号、区間形状、人孔番号、面積および地盤高の表示レイヤを排除区分(合流地域・分流汚水地域・分流雨水地域)毎および流下方法(自然流下・圧送)毎に設定するように変更しました。 ・鞘管記号、鞘管形状の表示レイヤの設定項目を新規で追加 ・[路線要素]の[排除区分] [設定項目]に[エクスポート]を追加しました。 <p>排除区分に設定されている全ての[設定項目]による作図レイヤまたは表示レイヤを、他の排除区分にエクスポートすることが可能です。</p>	
	<p>< 表示 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・[路線形状の表示]に[区画範囲]を追加しました。 ・[スパン形状の表示] [人孔形状の表示]と新規の[鞘管形状]の表示条件一覧部分を統合しました。 <p>[鞘管形状]では、[鞘管記号]および[鞘管形状]の表示条件を設定する。</p>	

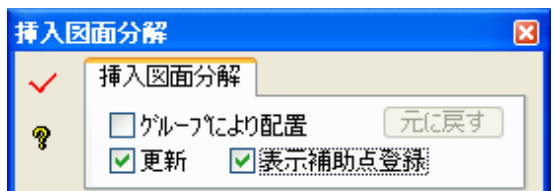
<p>【路線設定】</p>	<p>< 副管記号関連 > ・[記号の基本属性]に管路記号と同じ色彩・線種・線厚で表示する項目を追加しました。 副管記号を作図する場合、「管路記号設定」により設定した各管路の基本属性と同じ色彩、線種および線厚で表示するかが選択可能です。</p>	
<p>< 路線番号関連 > ・[表示条件]の[図面縮尺が 以下]の時に路線形状を省略]を[図面縮尺が 以下]の時に路線形状のみを %で表示する。]に変更しました。 ・[表示条件]に[図面縮尺が 以下]の時に全ての情報を %で表示する。]を追加しました。 ・[注釈線の基本属性]を追加しました。 [注釈線の基本属性]は、[区間形状(全般)関連] [人孔番号関連] [面積関連] [地盤高]にも追加されています。</p>	<p>< 人孔番号関連 > ・[表示条件を設定する]のチェックボックスが追加になりました。 [図面縮尺が 以下]の時に路線形状を省略][図面縮尺が 以下]の時に %で表示する。]から選択が可能です。 ・[注釈線の基本属性]を追加しました。</p>	
<p>< 人孔番号関連 > ・[表示条件を設定する]のチェックボックスが追加になりました。 [図面縮尺が 以下]の時に路線形状を省略][図面縮尺が 以下]の時に %で表示する。]から選択が可能です。 ・[注釈線の基本属性]を追加しました。</p>	<p>< 鞘管形状(全般)関連 > < 鞘管形状(表示)関連 > ・[鞘管形状(全般)関連]および[鞘管形状(表示)関連]の設定を新規に追加しました。</p>	
<p>< 記号表示 > ・管路記号の表記の[タイプ]に[更生したスハンを変更]を追加する。</p>	<p>< 記号表示 > ・管路記号の表記の[タイプ]に[更生したスハンを変更]を追加する。</p>	
<p>【人孔記号設定】</p>	<p>・人孔記号により設定出来る記号形状(外側)に[円弧カッコ]および[矩形(省略)]の2 タイプを追加しました。 ・人孔記号により設定出来る記号形状(内側)に[左上塗潰し]、[左下塗潰し]、[右上塗潰し]および[右下塗潰し]の4 タイプを追加しました。</p>	


<p>【人孔記号設定】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・[起点兼用人孔]に[振分人孔路線に記号を表記する]のチェックボックスを追加しました。 ・[起点人孔記号設定]内の[記号表記形状]にタイプを追加しました。 	
<p>【管路記号設定】</p>	<p>< 管路記号設定 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・流下方法から[自然流下更生管路]および[圧送更生管路]の2タイプを削除し、[自然流下管路]および[圧送管路]の2タイプ毎に管路記号の形状を設定するように変更しました。 ・エクスポートボタンを追加しました。 <p>[流下方法]により選択されている路線の[種別](幹線・支線)およびスパンの[施工区分](新規・既設・計画・撤去・存置)毎の管路記号の全ての設定パラメータを、他の流下方法にエクスポートします。</p>	
<p>【鞘管記号設定】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・鞘管記号設定を新たに追加しました。 ・路線要素内の鞘管を表示する場合の鞘管記号を設定します。 	
<p>【路線番号設定】</p>	<p>< 路線表記形状設定 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・[路線表記形状設定]内に[配置タイプ]を追加しました。 <p>路線番号内の路線形状の表記について、右揃えの配置と左揃えの配置から選択が可能になりました。</p> <p>< 拡張スタイル ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・[拡張スタイル]を追加 <p>管径(呼び径)および内径の路線形状を表記する場合、管種等の項目を追加して表記することが可能になりました。</p>	
<p>【取付管設定】</p>	<p>< 全般 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・[取付管形状(全般)関連]および[取付柵名称関連]の表示レイヤを排除区分(合流地域・分流地域)毎および柵の排除区分(汚水・雨水・浸透貯留施設)毎に設定するように変更しました。 ・[取付管要素]の[排除区分][設定項目]に[エクスポート]を追加しました。 <p>排除区分に設定されている全ての[設定項目]による作図レイヤまたは表示レイヤを、他の排除区分にエクスポートすることが可能です。</p>	
<p>【取付管設定】</p>	<p>< 取付管形状(表記)関連 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・[取付管形状一覧]の項目内に[取付管番号]を追加しました。 <p>[取付管番号]により設定できる設定項目は、[取付管名称]と同様とし、[接頭文字]および[接尾文字]のみ。</p>	

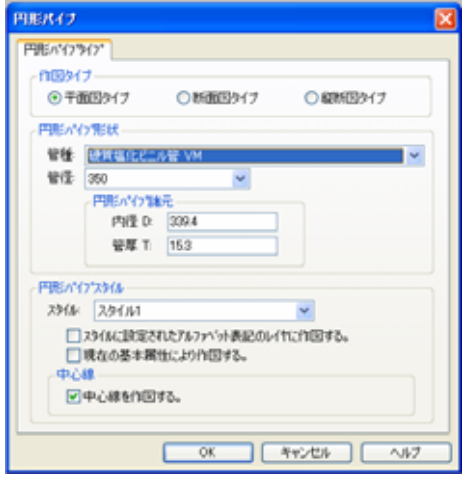
<p>【取付管設定】</p>	<p>< 取付榫形状関連 > ・取付榫名称関連から取付榫形状関連に名称を変更しました。 また、取付榫の榫番号を表示するのチェックボックスを取付榫形状を表示するに変更しました。 ・[注釈線の基本属性]を追加しました。 [注釈線の基本属性]は、[取付管形状(全般)関連]にも追加されています。</p>	
<p>【取付榫記号設定】</p>	<p>・取付榫記号により設定出来る記号形状(外側)に[円弧カッコ]および[矩形(省略)]の2タイプを追加しました。 ・人孔記号により設定出来る記号形状(内側)に[左上塗潰し]、[左下塗潰し]、[右上塗潰し]および[右下塗潰し]の4タイプを追加しました。</p>	
<p>【取付管記号設定】</p>	<p>・設定タイプに[取付管区分により設定]を追加しました。 [取付管区分により設定]を設定している場合は、取付管区分(新規・既設・計画・撤去・存置)毎に設定されている各パラメータにより取付管記号の表記を行います。</p>	
<p>【本管寸法設定】</p>	<p>・各オフセット関連の寸法を作図する場合の、作図レイヤおよび寸法スタイルの設定項目を追加しました。</p>	

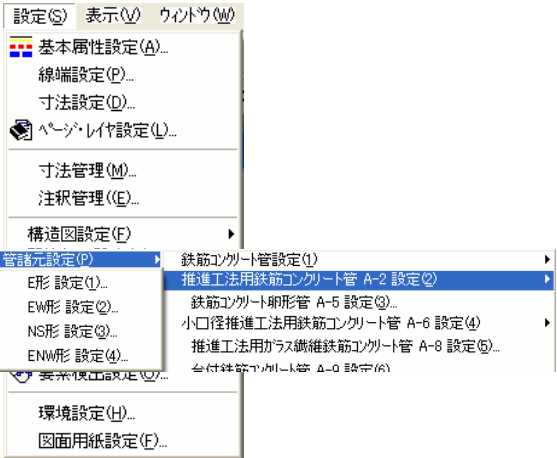
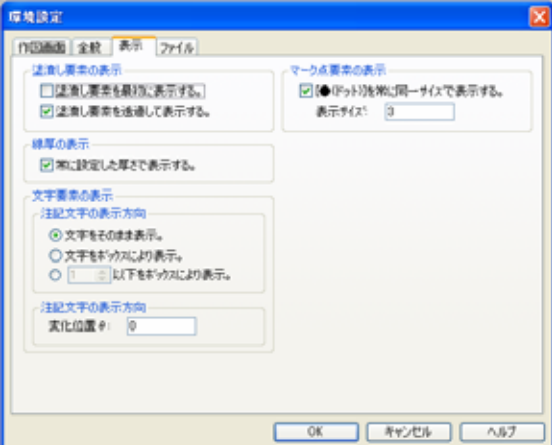
路線平面系統図(オプション)		
コマンド名称	追加内容	画面
【埋設管 - 埋設管作成】	・表記文字を注釈線により表記を行う[注釈表記]を追加しました。この表記タイプは、埋設管要素毎に設定可能です。 [注釈表記]の場合は、区間長に関係なく常に注記を行います。	
【埋設管 - 埋設管編集】	<埋設管変更> ・[注記/注釈]モードでは、注記タイプにより作成された埋設管要素の表記タイプの変更が可能です。	
	<注記変更> ・[注記表記]により作図された埋設管要素の注記文字の編集を行います。	
	<注釈変更> ・[注釈表記]により作図された埋設管要素の注記文字の編集を行う[注釈変更]を追加しました。	
【路線 - 路線変更】	・指定した路線(路線要素・地区外路線要素・流末路線要素)を他の路線タイプ(路線要素・地区外路線要素・流末路線要素)に変更する[路線変更]コマンドを新規追加しました。	
【路線 - 路線番号編集】	<位置変更> ・指定できる[変更タイプ]に[鞘管形状]を追加しました。 ・指定できる[変更タイプ]の[取付桝番号]および[取付管名称]を削除しました。 ・路線番号、人孔番号等をどの位置にでも配置できるようにしました。	
	<位置一括変更> ・取付管要素を変更要素対象外とし、路線要素(流末および地区外路線も含む)のみを対象要素としました。 [取付桝番号]および[取付管形状]の一括変更は新規に追加した[取付管番号編集]コマンドに移動しました。	
	<番号変更> ・ページの名称を[路線番号変更]から[番号変更]に変更しました。 ・[変更タイプ]を追加し、変更する番号タイプを指定します。現在の[路線番号]の変更に加え、[人孔番号]の変更の処理を追加しました。	
	<注釈線> ・路線要素内の各表記文字の注釈線に対しての編集処理を新規に追加しました。 [表示/非表示]では路線要素内の[路線番号]、[路線面積]、[区間形状]、[人孔番号]、[路線地盤高]および[鞘管形状]の表記文字に対しての引出線の表示ON/OFFを設定します。 [引出位置編集]では路線要素内の[路線番号]、[路線面積]、[区間形状]および[鞘管形状]の引出線の引出開始位置を変更します。	
	・新規に[オフセット寸法]ページを追加し、人孔および管渠のオフセット寸法および道路幅員の寸法を作図するモードを追加しました。 [スパン]モードにより、境界位置から管渠位置(スパン)までのオフセット寸法を作成します。 [人孔]モードにより、境界位置から人孔位置までのオフセット寸法を作成します。 [道路幅員]モードにより、管渠が埋設されている道路の幅員寸法を作成します。	

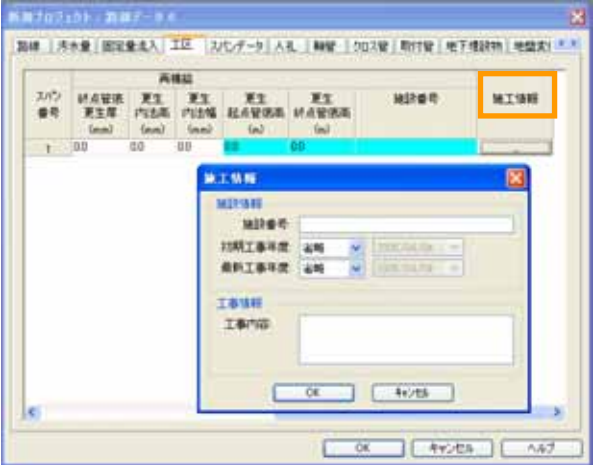
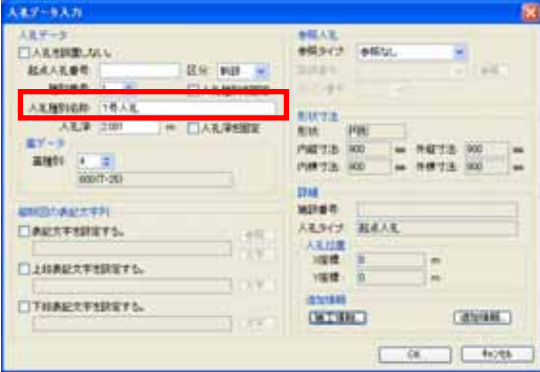
【取付管 - 取付管番号編集】	<p>< 位置変更 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 取付管要素内の[取付柵形状]および[取付管形状]の表記文字の表記位置を変更します。 取付柵形状、取付管形状はどの位置にでも配置可能です。 	
	<p>< 位置一括変更 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 指定した複数の取付管要素群内の[取付柵番号]および[取付管形状]の表記文字の表記位置を一括変更します。 	
	<p>< 番号変更 ></p> <p>設定できる変更タイプは[柵名称]および[柵番号]の2タイプです。</p> <p>[柵名称]に変更タイプが設定されている場合は、取付管データ内の[取付柵]-[柵名称]の設定値を変更し、[柵番号]に変更タイプが設定されている場合は、取付管データ内の[取付柵]-[柵番号]の設定値を変更します。する。</p> <ul style="list-style-type: none"> [単独変更]では、指定した取付管要素内の[柵番号]を変更します。 [連続変更]では、指定した2要素の路線要素間に接続する上流側からの取付管要素群内の[柵番号]を、設定した開始番号およびステップ間隔により連続で[柵番号]を一括変更します。 [一括変更]では、指定した路線要素に流入する路線要素の上流側からの系統順による路線要素群に接続する取付管要素内の[柵番号]を、設定した開始番号およびステップ間隔により[柵番号]を一括変更します。 	
	<p>< 注釈線 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 路線要素内の各表記文字の注釈線に対しての編集処理を新規に追加しました。 [表示 / 非表示]では取付管要素内の[取付柵形状]および[取付管形状]の表記文字に対しての引出線の表示ON / OFFを設定します。 [引出位置編集]では取付管要素内の[取付管形状]の引出線の引出開始位置を変更します。 	
【面積 - 面積計算】	<ul style="list-style-type: none"> 流域、用途区域が存在しなくても計算が可能になりました。この場合、区分0の面積に自動設定されます。 	


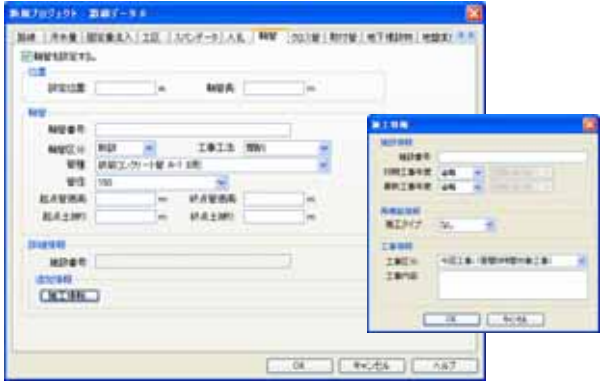
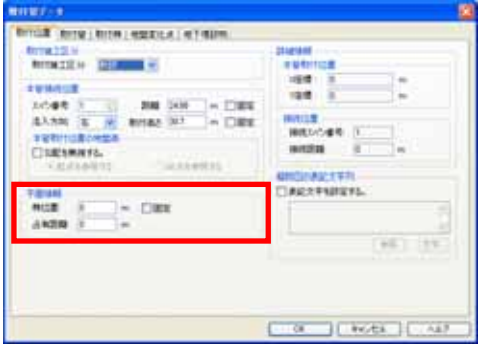
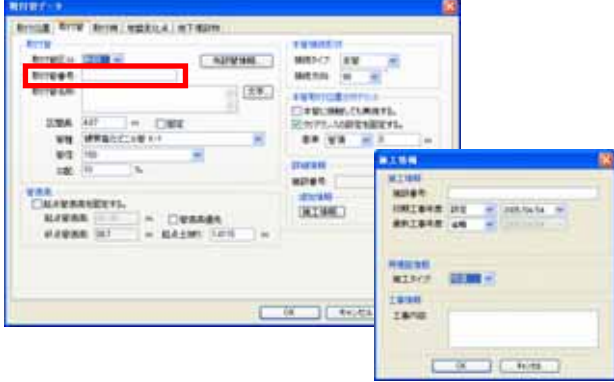
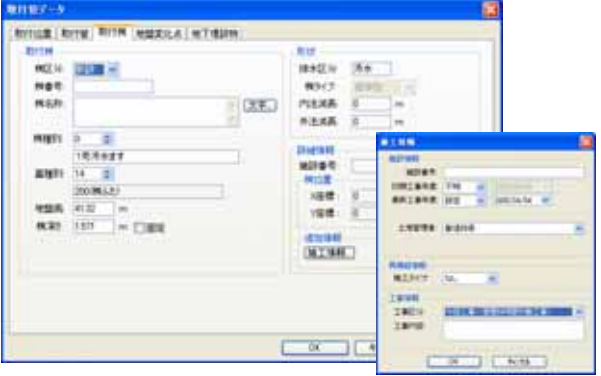

作図コマンド		
コマンド名称	追加内容	画面
【挿入図面 - 挿入図面分解】	<ul style="list-style-type: none"> [更新]のチェックボックスを追加しました。 [更新]のチェックボックスが[ON]の場合は、挿入した図面の最新の状態でのインポートの処理を行います。また、インポートする時に挿入元図面が同じフレーム内で開かれている場合は、開かれ図面をインポートします。 [表示補助点登録]のチェックボックスを追加しました。 [更新]のチェックボックスが[ON]かつ[表示補助点登録]のチェックボックスが[ON]の場合は、配置した図面にインポートする時に、挿入元図面の各要素に登録されている点のタイプにより各要素をインポートします。 	

構造図(オプション)		
コマンド名称	追加内容	画面
【暗渠】	<p>< パイプカルバート ></p> <ul style="list-style-type: none"> 選択可能な[管種]に推進工法用鉄筋コンクリート管 A-2EW型・ENW型、小口径推進工法用鉄筋コンクリート管 A-6EW型・ENW型、硬質塩化ビニル管 VP・VMの計6タイプを追加しました。 	

<p>【暗渠】</p>	<p><円形パイプ> ・選択可能な[管種]に推進工法用鉄筋コンクリート管 A-2EW 型・ENW 型、小口径推進工法用鉄筋コンクリート管 A-6EW 型・ENW 型、硬質塩化ビニル管 VP・VM の計 6 タイプを追加しました。</p>	
--------------------	---	---

設定		
コマンド名称	追加内容	画面
<p>【構造図設定 - 管諸元設定】</p>	<p>・推進工法用鉄筋コンクリート管 A-2EW 型・ENW 型、小口径推進工法用鉄筋コンクリート管 A-6EW 型・ENW 型、硬質塩化ビニル管 VP・VM の計 6 タイプの管種を追加しました。</p>	
<p>【環境設定】</p>	<p><表示> ・[表示]ページを新規に追加し、「全般」ページ内の[塗潰し要素の表示]、[線厚の表示]、[文字要素の表示]の各設定項目をこのページに移動しました。 ・[マーク点要素の表示]を追加しました。 チェックボックスが ON の場合は、各マーク点に設定されているサイズは無視し、同グループボックス内の[表示サイズ]により設定されたサイズにより、全ての (ドット)タイプのマーク点要素を表示します。</p>	

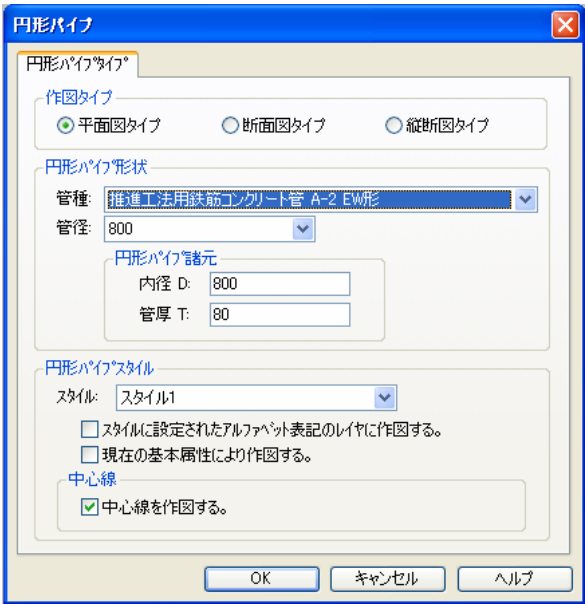
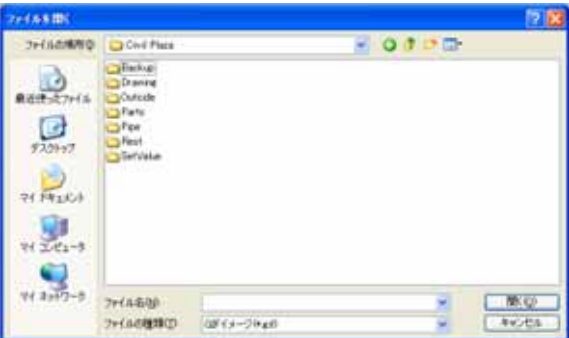
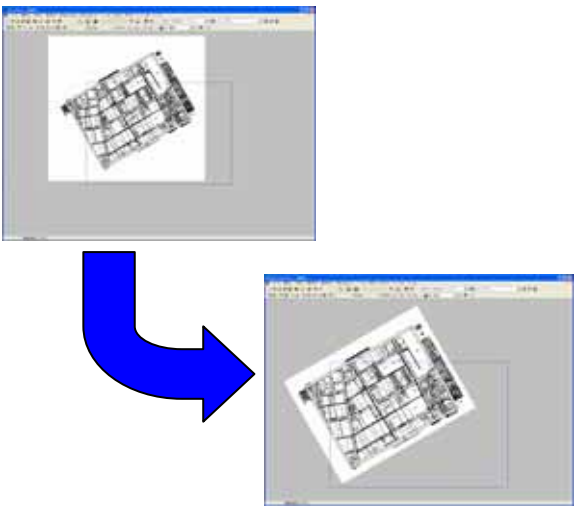
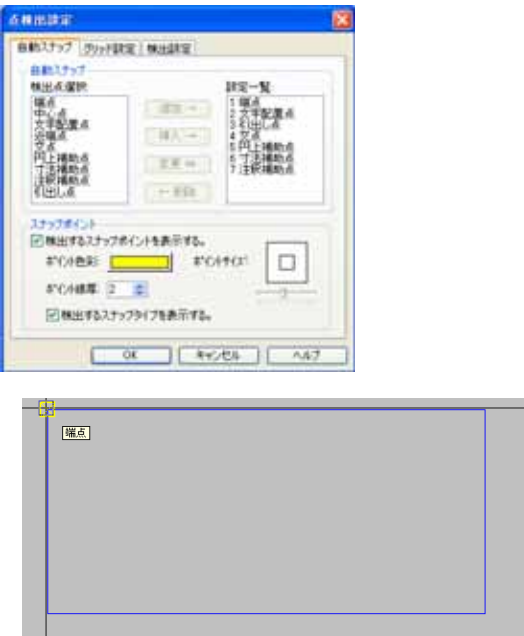

路線データ入力		
コマンド名称	追加内容	画面
<p>【工区】</p>	<p>[施工情報]欄を追加し、施工情報として[初期工事年度]、[最新工事年度]、工事情報を入力できるようにしました。</p>	
<p>【人孔】</p>	<p>・[人孔データ]内の[人孔名称]を[人孔種別名称]に変更しました。</p>	

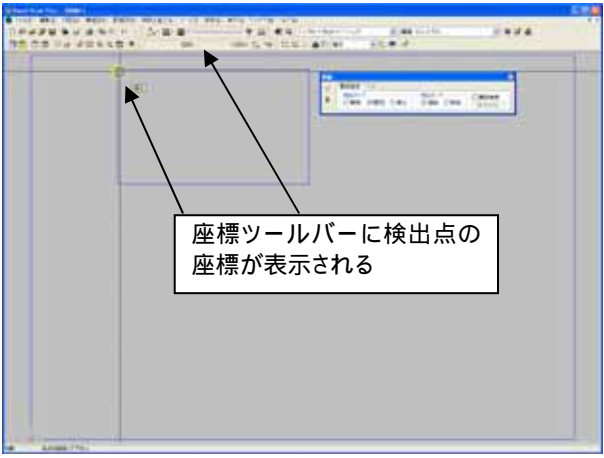
<p>【人孔】</p>	<p>・[追加情報]内に[施工情報]欄を追加し、施設情報として[初期工事年度]、[最新工事年度]、[土地管理者]、[人孔製品名]や再構築情報として[施工タイプ]、[更生工法]等の情報を入力可能にしました。</p>	
<p>【鞘管】</p>	<p>鞘管の設定を新規に追加しました。 ・[追加情報]内の[施工情報]欄では、施設情報として[初期工事年度]、[最新工事年度] や再構築情報として[施工タイプ]、工事情報として[工事区分]等の情報を入力可能にしました。</p>	
<p>【取付管】</p>	<p>< 取付位置 > ・参照位置の設定項目を削除し、新たに平面情報を追加しました。</p>	
<p>< 取付管 > ・[取付管]内に[取付管番号]を追加しました。 ・[詳細情報]内の[施工情報]欄では、施設情報として[初期工事年度]、[最新工事年度] や再構築情報として[施工タイプ]、工事情報として[工事内容]の情報を入力可能にしました。</p>	<p>< 取付管 > ・[取付管]内に[取付管番号]を追加しました。 ・[詳細情報]内の[施工情報]欄では、施設情報として[初期工事年度]、[最新工事年度] や再構築情報として[施工タイプ]、工事情報として[工事内容]の情報を入力可能にしました。</p>	
<p>< 取付桝 > ・[桝番号]の設定項目名を[桝名称]に変更し、新規で[桝番号]を追加しました。 ・[桝名称]の設定項目名を[桝種別名称]に変更しました。 ・[追加情報]内の[施工情報]欄では、施設情報として[初期工事年度]、[最新工事年度]、[土地管理者]や再構築情報として[施工タイプ]、工事情報として[工事区分]等の情報を入力可能にしました。</p>	<p>< 取付桝 > ・[桝番号]の設定項目名を[桝名称]に変更し、新規で[桝番号]を追加しました。 ・[桝名称]の設定項目名を[桝種別名称]に変更しました。 ・[追加情報]内の[施工情報]欄では、施設情報として[初期工事年度]、[最新工事年度]、[土地管理者]や再構築情報として[施工タイプ]、工事情報として[工事区分]等の情報を入力可能にしました。</p>	
<p>【地下埋設物】</p>	<p>[地下埋設物]および[取付管地下埋設物]データに[高さ]の固定機能を追加しました。</p>	

エクスポート		
コマンド名称	追加内容	画面
【エクスポート】	エクスポートにおいて以下の設定を追加しました。 ・再構築スパンをエクスポートする ・スパン参照をエクスポートする ・再構築人孔をエクスポートする ・同一人孔をエクスポートする	

基本部(作図編集コマンド)		
コマンド名称	追加内容	画面
【印刷プレビュー】	・印刷プレビューの背景色を[変換設定]のスタイル毎に設定することができるようになりました。	
【印刷メニュー 部分印刷】	・部分印刷での範囲指定で端点等の検出を可能にしました。	
【ファイルメニュー ファイル入力】	・他のファイル形式の図面ファイル入力時に、読み込みを行ったファイル名を図面(dob ドキュメント)のファイル名に自動設定	
【ファイル出力メニュー DWG 出力】	・DWG 出力で DXF の R13、R14、2000 形式で出力。	
【ファイル出力メニュー 一括出力】	・現在作業中の図面を一括で sfc、p21、dxf または dwg 形式のファイルに出力可能な[ファイル一括出力]コマンドの追加。	

<p>【図面の比較】</p>	<p>< 変更内容の確認 > ・指定した元の図面および比較図面の二つの図面をSXF 形式により比較を行い、元の図面に対して変更(追加、変更および削除)された要素を追加(各変更状態により色彩・線種・線厚を変更)した状態の図面を表示する機能を新たに追加しました。 また、この図面を、SFC 形式のファイルに出力、および、変更内容の結果をHTML形式のファイルに出力する事も可能です。</p>	
<p>【編集メニュー コピー】</p>	<p>・[コピー]コマンドにファイル保存機能を追加し、JPEG、GIF、TIFF、PNGファイル形式に対応。</p>	
<p>【編集メニュー ページ属性編集】</p>	<p>・[ページ属性編集]コマンドによりページ単位でレイヤの[編集]、[表示]、[凍結]を設定可能。</p>	
<p>【製図基準メニュー 製図基準レイヤ名変更】</p>	<p>・[製図基準レイヤ名変更]コマンドで、変更されたレイヤのみの責任主体を変更する機能の追加。</p>	
<p>【文字編集メニュー 単独文字変更】</p>	<p>・文字要素単体の文字列、フォント、配置点タイプ、角度を変更可能な[単独文字変更]コマンドの追加。</p>	

<p>【構造図メニュー 暗渠】</p>	<p>・円形パイプの形状に[A-2 EW形]、[A-2 ENW形]、[A-6 EW形]、[A-6 ENW形]、[VP]、[VM]管の追加。</p>	
<p>【ツールメニュー ラスタ入力】</p>	<p>・[ラスタ入力]コマンドにGIF、PNGファイル形式を対応。</p>	
<p>【ラスタ編集メニュー ラスタ移動】</p>	<p>・ラスタ要素の回転時での表示で余白部分の非表示化。</p>	
<p>【点検出設定】</p>	<p>・点検出時の検出点タイプのツールチップの表示。</p>	
<p>【表示メニュー 全体表示】</p>	<p>・図面内存在する要素の最大矩形範囲を表示する[全体表示]割込みコマンドの追加。(表示モードには対応していません)</p>	

<p>【座標ツールバー】</p>	<p>・[座標]ツールバーに表示する座標値を検出点の座標を表示。</p>	
<p>【矢印キーによる移動】</p>	<p>・複写や移動等のコマンドで矢印キーにより移動表示が可能。</p>	